







植木鉢の上に手首をかざして手首を切ったらドクドクドクと手首から流れだした血をわたしはサボテンに垂らしたら針が窓から射し込む夕日を浴びてキラキラキラと輝きあるいは夕日が蟻を殺すのです。それをわたしはずっと見ていましたからそれは絶対の本当のことだから石を投げるのはやめてくださいおねがいです。どうして投げるのですか。そのせいでわたしはわたしの左目がなくなりました。右目だけでものを見るのは立体的ではなく遠近法パースペクティブが平たく伸びていくのですものがつかめない。のは非ユークリッド幾何学的空間のためで右目です。位相配置あああああああああああああああああああああああああああああいつの間にかテレビジョンがついて「次のニユースです。潰された胎児は頭だけになっても泳ぎ続けま

す。次のニユースです。子宮の中で潰された胎児は頭だけになっても泳ぎ続けるでしょう。次のニユースです。子宮の中で潰された胎児は頭だけになってもまだ泳ぎ続けるのです。母の臓物を喰い破るために。次のニユースです。子宮の中で潰された胎児は頭だけになっても母の臓物を喰い破るため泳ぎ続けるのです。次のニユースです。次のニユースです」アナウンサー男は読み上げる紙にはわたしの頭の中の考えていることが次々に表示されていくの見えるはずなんてないのにわたし見て笑って嘲笑いながらアナウンサーは読み上げているのをみんなが知っているのにみんなが黙って知らないふりをしてみんな黙って知らないふりをしていてそれならば知らないふりをして黙ってればよいのにみんながわたしに本当は知っているのだぞとわたしにわかるようにわかるようにほのめかすためにわたしに石を投げるのです石とは意思のことですみんなはわたしから頭の中の考えていることをわたしから盗み（窃盗罪）だしそしてテレビジョンきちがい泥棒アナウンサーに読み上げさせられるだけでは飽き足らずわたしに知っているのだぞとわかるようにわかるように















